

地方都市の中心市街地に立地する地域金融の担い手による地域への省CO₂の波及と地域防災への貢献

島根銀行本店

採択事業名称 島根銀行本店建替工事[平成26年度 第1回]
提案者 株式会社島根銀行

松江市の中心部に立地する地方銀行の本店新築計画です。建物西側の宍道湖への眺望を確保しつつ、快適な執務空間を実現するため、外壁ルーバー、ブラインド制御、輝度制御、ツインコーナーエコポイド、天井面輻射併用空調などを活用し、省CO₂と知的生産性の維持向上を図っています。また、地域住民や企業、観光客への多様な情報発信に加え、非常時の帰宅困難者の受け入れ、灯りと情報を絶やさない駅前の情報発信拠点となることを意図した電源供給時間の調整可能なバックアップ電源の確保などによって、地域防災にも貢献するシンボルタワーを目指しています。

位置図



- ①建物名：島根銀行本店
- ②所在地：島根県松江市朝日町宇伊勢宮484-19ほか
- ③主用途：事務所
- ④敷地面積：2,406㎡
- ⑤延床面積：12,041㎡
- ⑥階数：地上13階、地下1階、塔屋1階
- ⑦竣工年月：2016年9月末(予定)
- ⑧建築主：株式会社島根銀行
- ⑨設計者：株式会社石本建築事務所
- ⑩施工者：清水建設JV(松江土建、中筋組、今井産業、カナツ技建工業、大松建設、豊洋)
- ⑪CASBEE：Sランク(BEE=3.0)
- ⑫受賞歴：—
- ⑬URL：http://www.shimagin.co.jp/index.html

全景

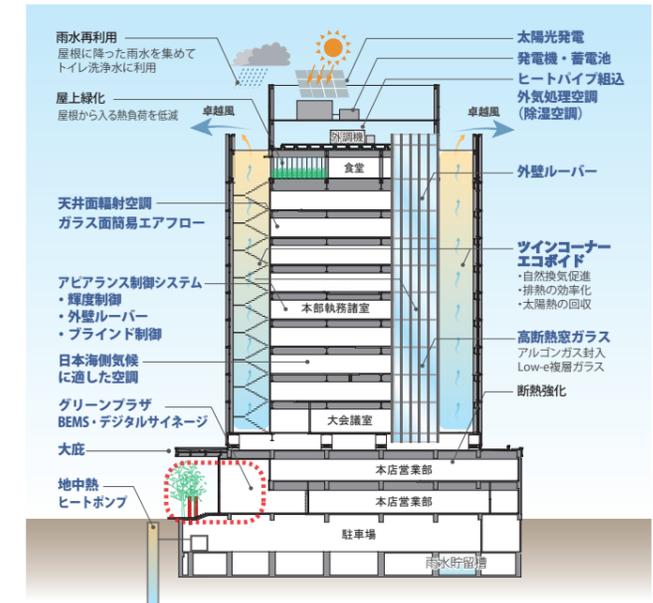


取り組みテーマ

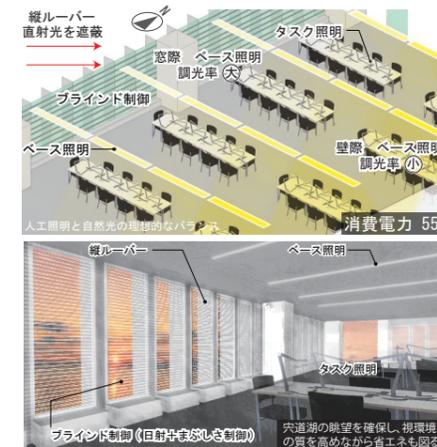
- 複数建物・街区
- 地方・郊外
- 既存ストック
- 賃貸
- 省エネ行動
- コ・ベネフィット

省CO₂への主な取り組み

- **アピランス制御システムによる「省エネルギー性」「最適な明るさ」「眺望の確保」の実現**
 - ・アピランス制御による輝度設計に基づいた照明調光と外壁ルーバーおよび電動ブラインドによる窓面グレアの抑制
- **ツインコーナーエコポイドと日本海側気候に適した空調システム**
 - ・南西・北東に設置したツインコーナーエコポイドによる自然換気の促進および太陽熱の回収と省エネ空調システムの併用による省CO₂化
- **エネルギーの見える化による情報展開**
 - ・新店ビル・各支店・出張所のエネルギー情報を共有し、SNS等への情報発信によりスマートコミュニティを構築
- **地域防災に貢献する非常時自立型省エネビル**
 - ・中央監視装置による非常用電源の供給調整、太陽光発電設備+蓄電池設備による電力供給、高断熱化による空調負荷低減、地中熱ヒートポンプ+輻射空調による室内環境調整

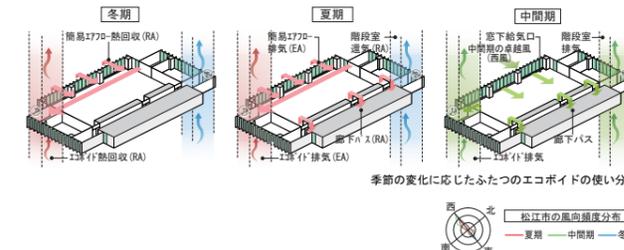


〈アピランス制御システム〉



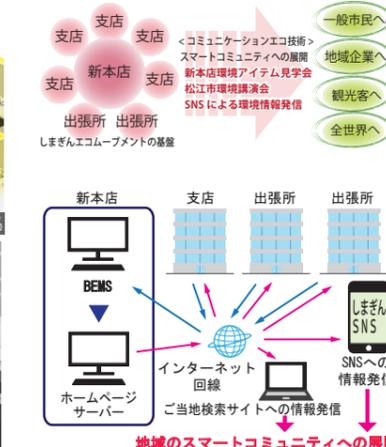
アピランスを考慮したブラインド制御により、地域のシンボル宍道湖への眺望と窓面輝度抑制を両立。

〈ツインコーナーエコポイド〉

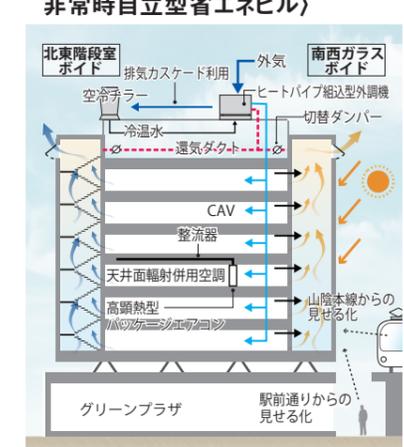


地域性と立地性を活かし、自然換気のさらなる促進と排熱の効率化、太陽熱の回収。エネルギーゼロの予冷再熱が可能な空調方式のより顕熱潜熱分離を徹底。また、天井面輻射併用空調による「ドラフト感のない均一気流」とガラス面簡易エアフローの併用によるペリメーターレス化。

〈エネルギーの見える化による情報展開〉 〈情報発信拠点としての非常時自立型省エネビル〉



新店ビルから各支店と出張所への省エネ連携と地域住民や企業と観光客への環境啓蒙活動を計画。SNSの情報発信等により山陰地方におけるスマートコミュニティを構築。



太陽光・蓄電池でグリーンプラザおよび帰宅困難者受入スペースの照明を点灯。帰宅困難者を約100名受入れ可能。また、継続運用に応じたBCP供給負荷の選択と系統連系システムを構築し、市が発信するインフラ復旧情報、原発情報をデジタルサイネージで発信。

MEMO 夕日が有名な宍道湖を西に望む松江市街地において、ルーバーやブラインドを活用し、宍道湖への眺望の確保と西日対策の両立を目指しています。日頃から積極的に実施しているSNSや動画配信などに環境情報を加えて、地域への波及を図るとともに、東日本大震災の教訓から「灯りと情報を絶やさない災害に強いまちづくり」の拠点として地域の防災に貢献することも意図されています。

街区

集客施設

病院

庁舎

事務所①(自社ビル)

事務所②(テナントビル)

学校

研究所

共同住宅

住宅団地

戸建住宅